Niagara IV System
PX-5500

取扱説明書

ナイアガラ IV 設置方法

使用を開始する前に取扱説明書をよくお読みください。

セットアップを正確に行えば、設置後に問題が起きることはありません。設置後に修正等を行わなくて済むように、ナイアガラ IV システムのセットアップは、ゆっくりと十分に時間をかけてください。それでも開始から終了までは一時間もかからないでしょう。適切なセットアップを確実にするために一つ一つの段階をゆっくりと進んでください。各システムはセットアップのために適当なパーツに分かれています。下の写真はこのシステムのために必要な全てのパーツです。この写真には数種のブラケットがありますが、お求めのシステムにより使用しないものや、下記に表示されていないものもありますのでご注意ください。

センターアームブラケットは、システムの種類により形状が異なります。この写真には全てのシステムの全てのブラケットを表示しています。個々のシステムにはそれぞれ適したカートリッジが設置に必要な数だけ用意されています。この写真にはエプソン PX-G930 用のシステムが表示されています。写真には 20ml の注射器が写っていますが、製品によっては注射器が 10ml のものもあります。

新しいタイプのインクホルダータンクはそのバランス装置に最先端の技術を採用し、インクに対して常に一定の圧力を保ち続けます。広く開いた方のインクの注ぎ口であるフィルホールおよび狭い方の空気穴となるベントホールはシンプルなデザインとなっています。インクホルダータンクに一度入れたインクは使用中もしくは移動中に溢れることはありません (移動するときはフィルターを取り外し、ラバープラグの反対側でベントホールの穴を塞いでください)。今回変更されたカートリッジはスポンジを使用しないデザインで、インク漏れによる印刷物へのシミや汚れを防止します。ナイアガラ IV のインクホルダーの容量は 80ml です。

ナイアガラ IV のセットアップに必要な場所を用意して、インクをこぼさないように、取り扱うインクやタンクについて理解した上で行ってください。製品にはインクをこぼしてしまった場合に備えて一組のゴム手袋と数枚のペーパータオルが付属されていますが、古新聞を敷いたり、流しの近くで作業をするのも良いでしょう。適切に作業を行えばインクがこぼれることはありませんが、我々は人間であり、外科医のような安定した手さばきを持っている人はほとんどいません。またシステムの準備のためのレイアウトはプリンターの近くでなくてもかまいません。

インクの入れ方

漏斗を使ってインクホルダータンク (写真 1) にインクを入れます。インクの注ぎ口はインクタンクホルダーの上部にある二つある穴の大きい方です。一度に 1 つの色ずつ作業を行ってください。そしてタンクに間違った色を入れてしまわないように十分確認してください。最初のタンクに全体の 3/4 程度のインクを満たしてください。そして漏斗を取り除き、インクの入っているボトルに置いてください。インクカートリッジを満たした後、さらに多くのインクを注入したい場合は付属の注射器を使いインクタンクにインクを満たすことも出来ます。そしてタンクに合った色のラバープラグでフィルホールに栓をしてください (ベントホールはオープンの状態にしてください)。

写真 1

付属の 10ml（もしくは 20ml）の注射器を使い写真 2 のようにインクを満たしたカートリッジの底の穴に注射器を差し込みます。その状態のままカートリッジを上下逆さまにして押し込むことで注射器の先端がカートリッジの底の出口をカバーする明瞭なプラスチックを貫通させます。そしてそのまま注射器を引きシステム内の全ての空気を確実に取り除いてください。注射器を素早く引き、そのままの状態で 5-10 秒間維持してください。チューブの出ている側の口からは行わないでください。カートリッジがインクで満たされたことを確認してください。カートッジを完全に満たすためにこの作業を 2-3 回繰り返してください。注射器内に安定してインクが流れ込むようになれば大丈夫です。注射器内のインクは同じ色のインクボトルに戻してください。写真 2 は完全にインクの入った状態のカートリッジです。カートリッジの出口から注射器を取り外してもカートリッジにあるポペットバルブが閉じられて空気が逆流しないようになっています。

写真 2

上記の方法でインクを満たした後、再度フィルホールを開けてタンンクホルダーにインク 3/4 のマークまでを継ぎ足してください (写真 1)。ラバープラグの大きい方の栓でフィルホールを閉じ、そしてフィルターの大きい方を下にしてベントホールに差し込んでください (写真 3)。そして使い終わった注射器とじょうごは温水で洗ってください。顔料および染料ベースのインクは水性ですので簡単に洗い流すことが出来ます。また流しが無い場合でもプラスチックのカップやボトルを使って洗浄することも可能です。そして次の色に取りかかる前にペーパータオル等で分に水気を拭き取って乾かしてください。そして各色共に同じ手順を繰り返してください。

写真 3

設置の方法

それぞれのシステムは異なったデザインで異なったチップを使用したカートリッジを使用しています。

それぞれのシステムはチューブがプリンターの動作の妨げにならなずに、適切にインクが供給できるようにデザインされたチューブを固定するためのクランプとセンターアームブラケットが付属しています。プリンターの種類によってレイアウトはわずかに異なっていますが、クランプとセンターアームブラケットにはプリンターの適切な場所に設置できるようにチューブがセットされています。インクボトルホルダーはプリンターの右側に置いてください。次に、写真 (B) に示されるようにチューブをプリンターの右側から供給させるようにします。そしてクランプをプリンターの右端に設置します。この場所にモニターがあるプリンターの場合は、そのモニターの手前、あるいはプリンターの横にクランプを設置することもできます。これはチューブの動きを制限するためのものです。クランプに挟まれているチューブは必要に応じてスライドさせることも出来ます。センターアームブラケットは下の写真にあるようにプリンターのほぼ中央に取り付けます。

(A) PM-4000PX

(B) PX-G930

(C) PX-5500

クランプとセンターアームブラケットを設置したら、プリンタのカートリッジ交換ボタンを押し、カートリッジキャリアの動きが止まったら、プリンタの電源コードをコンセント部分から抜いてください。そうすることでカートリッジキャリアが手で動かせるようになります。今まで使用していたカートリッジを取り出してください。取り出したカートリッジは修理等でプリンタをメーカーのサービスに出すときに必要になる場合があるので保管しておいてください。
* ブラケットのあるプリンタの場合は、加工したカートリッジにチューブを供給するために、一度キャリアをプリンターに左端に移動させてチューブの付いたカートリッジがセンターアームブラケットとプリンターのブラケットの下を通るようにしてください。そしてその隙間を通してカートリッジを交換位置まで持って行きます。その後キャリアをカートリッジ交換位置まで手で移動させて全てのカートリッジを差し込みます。
* ブラケットの無いプリンターはそのままキャリアにカートリッジを差し込んでください。

どちらの場合でも一度カートリッジを設置したらチューブにある程度の余裕があることを確認するためにキャリアを左右いっぱいまで移動させてしてください。調節を行う必要がある場合、もっと余裕を持たせたい場合は、センターアームブラケットに挟まっているチューブをカートリッジ方面へスライドさせ、チューブに余裕がありすぎる場合は、逆の方向にスライドさせてください。そしてチューブが長過ぎてキャリアに引っかかったり、短すぎて左右への移動の妨げにならないように調節してください。もしキャリアのカバーが閉じない場合はドライバーなどでカバーの接続部分の一方を押し広げてカバーを取り除いてください。カートリッジはしっかりと固定されているので、カバーの必要はありません。カートリッジの上部を覆っているカートリッジカバーは必要に応じて取り除いてください。この部品は将来的に必要になる場合もあるので捨てずに保管してください。この部分は左右二つの突起物中央のタブによって固定されています。キャリアの一方の角を押し広げるだけでカバーは簡単に外れます。そして中央のタブを慎重に持ち上げてください (時に折れてしまう場合もありますが、特に必要なものでは無いので問題ではありません)。このカバーはセンターのタブが無くても元に戻すことが出来ます。片側を取り外せば反対側も同時に外れます。

プリンターの電源コードをコンセントに差し込み、ノズルチェックをプリントしてください。必要に応じて２～３回のクリーニングを行ってください。連続して３回以上のクリーニングは行わないでください。もしクリーニングを３回行ってもノズルチェックが完全でない場合は、30 分程インターバルをおいてインク内の泡が収まるまで待ってください。その後再度ノズルチェックを行ってください。最も最悪なシナリオはシステムを安定させるために徹夜してしまうことです。

メンテナンスについて

1. ナイアガラ IV システムとプリンターは同じ高さのところに置いてください。
2. タンクの中のインクがカラーラベルの上部近くまで減ってきたらシステムに空気が入らないようにインクを補充してください。
3. インクを補充するときベントホールにプラグが付いているかを確認してください。注ぎ口の栓を先に外してから、フィルターを外し、小さい方のカラーラバープラグでこの穴を塞ぎます。そして漏斗を使ってフィルホールからインクを注ぎます。もしインクがホルダーの方にうまく入らない場合は、ゆっくりと漏斗をわずかに持ち上げて、空気を入るようにすると、インクはスムーズに入って行きます。
4. インクが固まらないようにするために定期的にインクホルダーを軽く振ってください。
5. プリンタを使用しないときはプリントヘッドにキャップするために電源を切ることをお薦めします。

よくある質問：

インクボトルのインクがフルの状態でもインクレベルが低下し続けるのはなぜですか？
プリンタはナイアガラシステムが取り付けられていることを認識していませんので、インク切れが近づいたときにインク交換のサインを出すための純正インクの残量のカウントを続けています。しかしながらナイアガラのカートリッジに取り付けられているチップが、インクのレベルが５～ 10% になったとき自動的にリセットしますので、何もする必要はありません。もし自動的なリセットが行われない場合は、カートリッジ交換のボタンを押して、カートリッジを取り出し２～３秒おいてから再度プリンタにセットしてください。

インクの掠れはどうやって解決するのですか？
どれだけのノズルが適切に機能していないか確かめるために最初にノズルチェックを行ってください。次に、クリーニングを実行してください。そして別のノズルチェックを印刷するために「はい」と答えてください。ノズルチェックで未だにギャップがあるようでしたら再度クリーニングを実行してください。ユーティリティを終了せずにクリーニングとノズルチェックを交互に行うと、より強力にクリーニングされます。連続して３回クリーニングを行ってもまだ問題がある場合は、これ以上何もしないで一時間程プリンターを休ませてください。特に顔料インクの場合は、高い dpi のプリントを可能にするためにこまめにチェックを行ってください。

ナイアガラシステム日本総代理店・輸入元

T. P. C.
ティ　ピー　シー

株式会社ティ・ピー・シー
http://www.kktpc.co.jp

東京 / 〒 150 – 0002 東京都渋谷区渋谷 3-15-1 テルイチビル 5F　Tel.03-5468-0231 ／ Fax.03-5468-0320
大阪 / 〒 530 – 0001 大阪市北区梅田 1-11-4 大阪駅前第 4 ビル B1-30　Tel.06-6341-6052 ／ Fax.06-6341-3153
九州 / 〒 812-0034 福岡市博多区下呉服町 4-31 喜洋ビル 103　Tel.092-263-7721 ／ Fax.092-263-7722